



令和8年度企画展

”天明三年“をアートで伝える!!



《信州浅間山噴火以来
天災横死者供養塔『南無阿弥陀佛』》
実物正面写真のタペストリー(原寸大)
青木宏展

水野 暁
×
青木 宏展

2026 7/16 | 木 | 2027 3/23 | 火 |

孺恋郷土資料館 | TEL | 0279-97-3405

入館料 | 村民無料

大人300円、子供150円、団体30名以上は2割引

開館時間 | 9:00~16:30 (入館16:00まで)

休館 | 毎週水曜

祝日と重なる場合は翌木曜・年末年始・ただし7-8月は無休

特別協力 | 千葉大学デザイン文化計画研究室



《天明泥流絵図2014—吾妻川〜利根川—》2014
(浅間溶岩石、銀、吾妻川及び利根川の水、膠、各種メディウムなど) 水野 暁

関連イベント

《啓発講演会 村民教養講座》“天明三年”をアートで伝える!!

2026年10月17日(土) 13:30~

講演+対談: 水野 暁先生・青木宏展先生・陳 正捷氏

・会場: サーラ孺恋 ・受付は9月1日より ・定員: 150名 ・参加無料

・申込: 孺恋郷土資料館(0279-97-3405)または二次元コード





水野 暁先生

(みずの・あきら)

4歳の時に描いた噴火の絵が今でも手元に残っている。微かに残る記憶を辿ると、テレビか何かで見た浅間山の噴火のシーンが脳裏に焼き付き、それをきっかけに描いたものだったと思う。40歳手前に差し掛かった当時の自分が、もう一度浅間山を描いてみようと思うきっかけとなった1枚でもある。

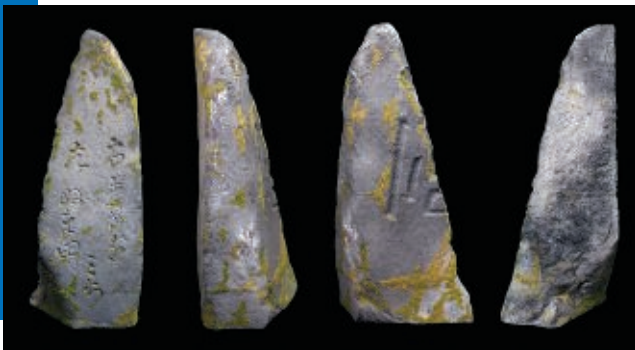


《浅間山の噴火(4歳の作品)》1978(水彩、板) 14.5×18.9cm



青木宏展先生

(あおき・ひろのぶ)



道標(延命寺石標の破片転用)の3Dモデル
2025年 千葉大学デザイン文化計画研究室

1 | 「地域デザイン」のための3Dデータ

生活用具なども含めて日本の各地に古くから存在するものをデジタルデータとして記録。

データは取って保存して終わりではなく、むしろ、地域活性化などに「活用すること」を目指す。

2 | 「3Dのレプリカ」はゴールではない

墨田区にある石碑など石造物の3Dデータを計測。多くの石碑は、常に屋外で風雨にさらされていることや自然災害による紛失などに備えた文化財の防災につながる。視覚障害の方にとってのレプリカの存在は、触れて形の理解につなげる手段になり、石に彫られた漢字を読む手段にもなる。そういった目的になった形で3Dデータの提供や使い道の考えを工夫するという「活用」の研究を進める。

アートとデザインの分野で活躍されている水野暁先生、青木宏展先生の天明三年浅間災害に関わるモチーフのもと制作された作品をお借りして、企画展を開催します。

ジャンルの枠を越え、作者のフィルターを通して多彩な表現がとられる美術作品にも、災害と語り継ぎの深意が反映されていることがわかります。他領域との緩やかなつながりによって、テーマを追い求めていくことがあらたな展開のヒントになるのだと考えました。“天明三年”の災害語り継ぎの新たな視点として着目していただけたら幸いです。展示作品の鑑賞を通して、本館の展示テーマをつなぎ取っていただけますことを願っています。

孺恋郷土資料館へのご案内

Tsumagoi History Museum

孺恋郷土資料館

〒377-1524

群馬県吾妻郡孺恋村大字鎌原494

TEL. **0279-97-3405**

FAX. **0279-82-1210**

JR利用の場合

- JR吾妻線万座・鹿沢口駅から軽井沢行き西武バス鎌原観音堂前下車。
- 北陸新幹線軽井沢駅から草津・万座温泉行き西武バス鎌原観音堂前下車。

自動車利用の場合

- 関越自動車道 渋川伊香保IC下車。R353、上信自動車道、R145、R144で約80分。
- 上信越自動車道 碓氷軽井沢IC下車。R18から鬼押ハイウェイで約60分。

